

「ひきこもり支援ガイドブック 附属資料」

区市町村における 支援の実例

(令和5年度)



2 墨田区の取組

「墨田区ひきこもりに関する専用相談窓口《すみ家（か）》を開設

墨田区では、令和5年4月から「ひきこもりに関する専用相談窓口《すみ家（か）》」を開設いたしました。（株式会社学研エル・スタッフィングに委託）

ひきこもりで悩んでいる方やそのご家族からの相談を受け止め、ご本人が望む解決に向けて、伴走支援を行っています。墨田区では、ひきこもり状態にあるご本人からの相談だけでなく、ご家族からの相談に対しての支援も重要視して対応しています。

◆対象 区内にお住まいのひきこもり等で悩んでいる方などからの相談をお受けします。

なお、ご家族は区外にお住まいの場合も相談が受けられます。

【相談に対してどんなことするの？】

相談支援事業の実施体制として、ひきこもり支援実績のある公認心理師が必ず全ての相談に関わることとしています。

まずは、相談窓口の支援員がご相談者の話を聞き、課題解決に向けて伴走支援を行います。

支援方法としては、電話、メール、オンライン、対面相談、訪問相談、家族会・当事者会など状況や希望に沿って多面的な対応をしています。

【家族会ってどんなことしているの？】

家族会では、オープンダイアログの手法を活用して実施しています。複数のクライアントを同時に対応しますので、通常のオープンダイアログとは異なりますが、リフレクティングなどの手法を活用することで、効果的な対話となっていると感じています。

参加者からは、「心の一番深いところの話を聞いてもらえた。」などの感想があります。



**あなたの生きづらさ
相談して
みませんか？**

人と関わるの
が怖い。
树となく不安。
ひきこもって
いるけど、
誰かに話を
聞いてほしい。
家族の悩みを
どこに相談したら
いいのか…。
人と交流する
のが…。
高齢者がほしい。
誰にどうやって相談していいのか分からぬこと、
不安なこと、もやもやしていることなど、
お話をぜひお聞かせください。

墨田区内にお住まいの
ひきこもり等で悩んでいる方などからの
相談をお受けします。
なお、ご家族は区外にお住まいの場合も
相談が受けられます。

オリジナルイメージキャラクター
「しまりん」

ご相談はこちらから

墨田区ひきこもり相談窓口
■TEL(専用回線)：080-9817-4740
■E-mail：ps-support@kame.co.jp
■開設時間：12時～18時（平日）
※祝日、年末年始を除く
■WEBサイト「すみ家」：
<https://www.waseda-sumika.jp>
※ひきこもり相談窓口は、墨田区が（株）学研エル・スタッフィングに委託して実施しています。

4つの相談方法

公認心理師などで構成
されたチームで
伴走支援します！

電話相談
ご連絡先：080-9817-4740
受付時間：平日 12時～18時（祝日・年末年始を除く）

メール相談
ご連絡先：ps-support@kame.co.jp
※祝日祝夜に、以下の日程の間にご連絡いただけます。
受付時間：平日 12時～18時（祝日・年末年始を除く）

出張対面相談
※ご希望によって、オンライン相談も実現可能です。

地域福祉プラットフォーム八広	地域福祉プラットフォーム本所	
住所	八広5-18-23 (八広はなみずき西郷地元産業センター内)	住所1-13-4 (本庁舎4階ラウンジ)
開催曜日	第3木曜日	第2・第4月曜日
開催時間	八広、本所ともに12時～16時	

家族会

会場	地域福祉プラットフォーム本所
住所	本所1-13-4 (本庁舎4階ラウンジ)
開催曜日・時間	原則、毎月第3日曜日 10時～12時

問い合わせ
お問い合わせの方は是非
お問い合わせください。

ご興味のある方は、HP「すみ家」をご覗ください。
ご相談の流れ、支援員や活動内容の紹介、
経験専門による体験談など、ご覧いただけます。

墨田区公式X（旧Twitter）・LINE・YouTubeの
ご登録をお待ちしています。HPはこちらから

【チラシ】当事者・家族に寄り添った墨田区ひきこもり相談窓口「すみ家」

「墨田区ひきこもり専用WEBサイト《すみ家（か）》」の開設

ひきこもり相談窓口のさらなる周知とわかりやすい情報発信をめざした専用WEBサイトを開設しました。ひきこもりで悩んでいる方に寄り添って作成しているところが特徴となっており、コンテンツや内容については、ひきこもりを経験された方や、ひきこもり専門の相談員（公認心理師）などからの意見を取り入れ、当事者目線を重視し作成しました。

サイトでは、区の職員や、支援員が動画で支援する流れや、相談方法などを説明しているほか、いじめによって10代にひきこもりだった経験専門家のコラムも掲載しており、ひきこもりになる経緯や心境などの体験談を掲載しています。

地域福祉プラットフォーム事業との連携

地域福祉プラットフォームは、小さなお子さんから高齢の方まで、どなたでも気軽に立ち寄ることができる地域の居場所、世代間交流の場所であると共に、地域における様々な困りごとの相談に応じる「交流拠点と相談の場」です。

このプラットフォームにひきこもり相談員（公認心理師）を週に1回派遣し、出張相談を実施しています。区社会福祉協議会のCSWが常駐していますので、様々な困りごとに対して連携して対応することができるとともに、「居場所」として利用することもできます。

